

【全国の受験生へのエール】

あなたは「できる方法を考える」人ですか？

～ それとも「できない理由を考える」人ですか？ ～

神奈川県立秦野高等学校長 神戸秀巳

「誰のために？」「何のために？」受験をするのですか？「本気で」受験に向き合っていますか？「夢」や「理想」を持っていますか？「高い志」を抱いていますか？全国や世界を見据えていますか？未来のことに想いを巡らせていますか？

学年集会や全校集会で、『勉強するのは、自分の未来を切り拓くため。小さな成功体験を積み重ねることで、今まで見たことのない「わくわくする」世界を出現させ、自分の存在意義を見つけるため。』と繰り返しメッセージを発信しています。大学に入学することが目的で、入学後に息切れをしてしまった人たちをたくさん見てきました。皆さんには、めざす大学に入学した後も、志の高い仲間たちと「切磋琢磨」しながら、前へと突き進んでほしいと思っています。

実際に、面白い新たな世界に出会い、その喜びを満面の笑みと一緒に報告に来てくれた先輩たちは数知れません。皆さんにもその仲間に加わってもらい、「高校生は3年間だが、卒業生は生きているかぎり」の母校へ出向き、皆さん自身の言葉で「わくわくする」様子を語ってくれたら、大変嬉しく思います。

昨年のエールに、宮城県の友人が書いてくれたある社長の言葉を紹介します。『「吐く」という漢字は、口から+（プラス）も-（マイナス）も吐くけど、自分の言葉からマイナスを取ると、「叶う」という漢字になる。マイナス言葉を話さないようにして、自分の夢を叶えてほしい。』この文章を読んだとき、とても熱いものがこみ上げてきました。

主体的	⇔	受身
○私が変化を起こす		×変化が起こる
○私が結果を出す		×結果が出る
○行動する（感・即・動）		×待ちの姿勢
○ポジティブ（ひよっとしたら）		×ネガティブ（どうせ）
○未来起点（あるべき姿に向かう）		×現在起点（未来に不安がいっぱい）

最後に、様々な場面を捉えて、繰り返し発信している3つの言葉を記します。

- ◆視野を広げると、面白い世界が見える。 ※地域→全国→世界、現在→未来
- ◆やらされ感では人は動かない。しかし、面白いと感じたとき、人は自ら動く。
- ◆できない理由を考えるより、できる方法を考える。 ※「殻(過去)を破る」チャンス

吉田松陰（1830-1859） 江戸幕末の思想家、教育者
『夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。』